

## 電子書籍について

1. 従来の教材・紙の書籍に加え、電子教材・電子書籍も助成対象とします。
2. 電子書籍はいろいろな会社が様々なサービスを提供していますので、以下におもな電子書籍のサービス会社のウェブサイトを紹介します（※記載の会社以外を利用しても構いません）。参考までに(1)と(2)は、国際交流基金（JF）制作日本語教材「[まるごと 日本のことばと文化](#)」の電子書籍を扱っています。
3. サービスの利用に際しては、各サービス会社と申請機関（大学、教育機関等）との間で利用に関する契約を締結する必要があります。申請すると同時に、各サービス会社と契約書を締結する準備を進めてください。なお、各サービス会社は、大学や学校等の教育機関と契約書を締結するのが前提のようです。教師会や学会のように、固定された事務局がない場合、契約書を結ぶことが難しい場合があります。詳細は各サービス会社のウェブサイトを参照のうえ、直接、各サービス会社に問い合わせてください。

- (1) KinoDen (紀伊國屋書店)

<https://www.kinokuniya.co.jp/03f/ebook/kinoden/index.html>

「まるごと 日本のことばと文化シリーズ」

<https://www.kinokuniya.co.jp/03f/ebook/kinoden/img/KD0187.pdf>

- (2) Maruzen eBook Library (丸善雄松堂)

[https://kw.maruzen.co.jp/ln/ebl/ebl\\_01.html](https://kw.maruzen.co.jp/ln/ebl/ebl_01.html)

- (3) JK Books (ジャパンナレッジ)

<https://japanknowledge.com/library/jkbooks.html>

- (4) EBSCO

<https://www.ebsco.com/ja-jp>

和書リスト

<http://www.ebsco.co.jp/ebooks/jpbooks.html>

- (5) OverDrive

<https://overdrivejapan.jp/>

- (6) 手塚治虫マンガ電子図書館 (極東書店)

<https://www.igroupjapan.com/contents/tezuka-manga/>

以上